太陽光発電事業者及び
保険代理店の皆様へ

環境省
Ministry of the Environment

被災した太陽光パネルの リユース・リサイクルの促進について

**資源循環のために、保険金請求の際は、
廃棄だけではなく、リユースによる太陽光パネルの
延命化やリサイクルの検討が必要です！**

- 被災した太陽光発電設備には、設置されている一部の太陽光パネルの破損により、被害を受けていない太陽光パネルまで張り替えられるケースがあります。
- このように排出される太陽光パネルの中には、適切な検査を通じてその状態や性能を確認することで、リユース可能なものが含まれている場合があります。
- また、発電事業者がリユースを選択することにより、現状回復費用の低減が期待できます。
- 一方、リユースできない太陽光パネルについても、リサイクルによって有用な金属やガラスを回収することができます。

1. リユース・リサイクル事例の紹介

●リユース事例

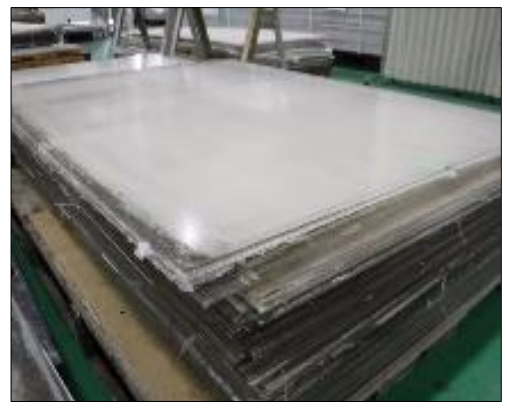
使用済みとなった太陽光パネルには、再販売可能なものもあり、既に多くのリユース事例が報告されています。

太陽発電設備の検査の様子

リユース品を使用した発電所

●リサイクル事例

使用済太陽光パネルを素材別に分離、破砕・選別し、ガラスや有用金属（銀等）を回収・リサイクルすることで資源の有効利用が可能となります。



分離したガラス

破砕・選別したガラス

有用金属（銀）のイメージ

2. 太陽光パネルのリユース品の外観状態や検査例

- 適切なリユースを促進する観点から、検査を通じてリユースの可否が確認される必要があります。
- 検査は、一般的にリユースに関する診断が可能な事業者によって行われています。

【外観状態】

<リユース可能なものの例>

ガラスの割れがなく接続や絶縁不良等故障につながる要因がないもの。

<リユース不可なものの例>

ガラスの割れがある場合はリユース品とみなされない。

【検査例】

<発電性能検査の例>

（I-V検査）
表示されるI-V特性カーブの緩やかさの度合い、段差、変形等により太陽電池モジュールの電流や電圧低下等異常の有無を確認。

<絶縁検査の例>

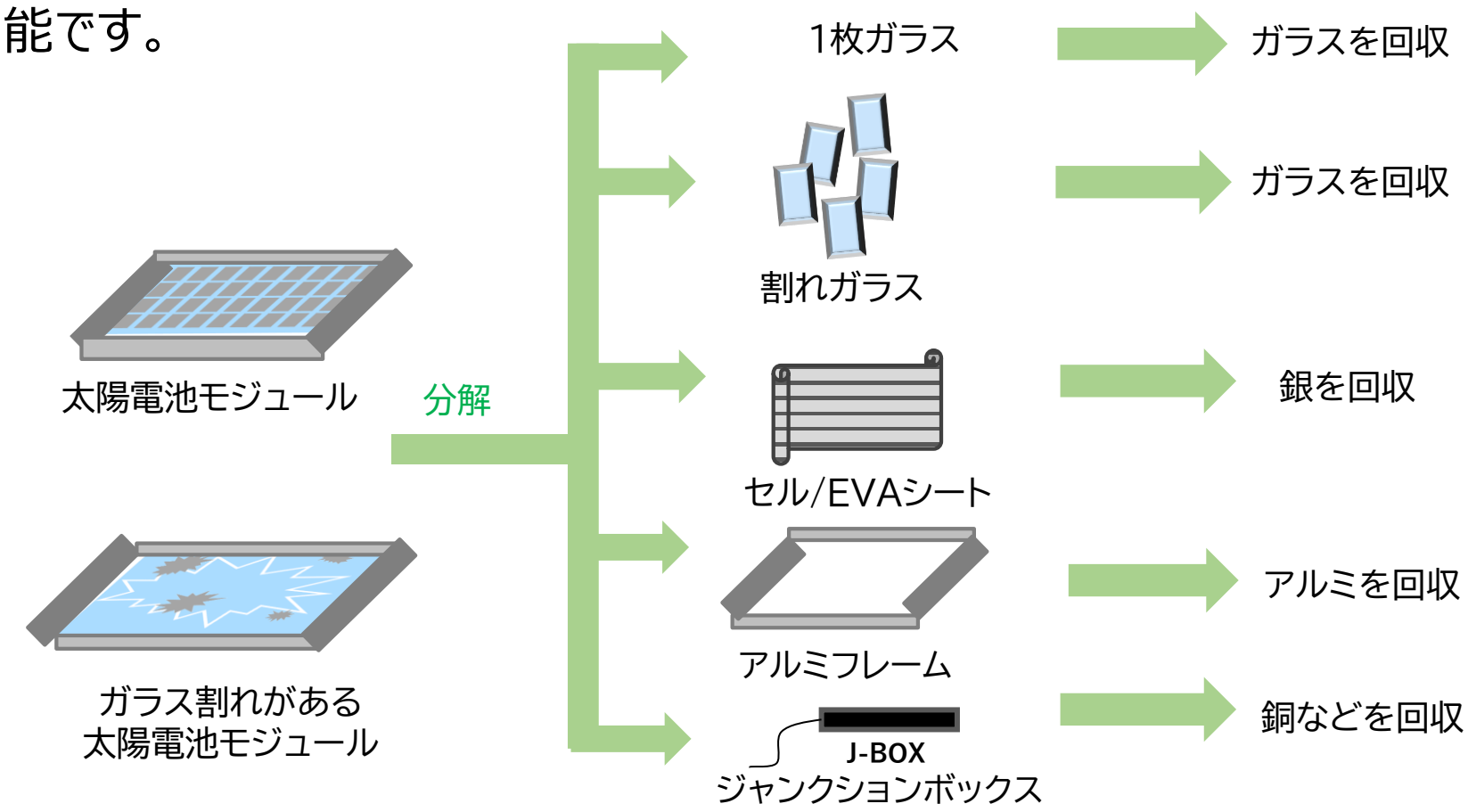
発生現場での絶縁抵抗検査

➢ **太陽電池モジュールの適切なリユース促進ガイドライン**

http://www.env.go.jp/press/files/jp/116525.pdf **（環境省ホームページ）**

3. 太陽光パネルのリサイクルのイメージ

- 適正処理を確保した上で、アルミに加え、ガラス等もリサイクル可能な事業者へ依頼することでより資源循環を行うことが可能です。



➢ **太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン（第三版）**

https://www.env.go.jp/page_00817.html **（環境省ホームページ）**

お問い合わせ先

環境省 環境再生・資源循環局　資源循環課
TEL　03-3581-3351（代表）